

市民と議会をつなぐ

# 市議会だより

SHINJO SHIGIKAI DAYORI

9月定例会  
No.162  
2023.11.27

昭和、平成、令和へと！  
みんな笑顔で、「ハイ」ポーズ！



市内にお住まいの、  
三世代のご家族  
(四世代)  
シリーズ!!

五日町在住の日下部さんご一家です。ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんに見守られながら、3人のひ孫さんたちも元気いっぱいでした！

9月定例会の議案等 …… P2～P3  
令和4年度決算の認定 …… P4～P5  
一般質問 …… P6～P14  
チョイス …… P14  
議員研修会報告 …… P15



←新庄市議会  
HPはコチラ

新庄市議会だよりの表紙を、「市内にお住まいの、三世代（四世代）のご家族シリーズ!!」で、三世代以上のご家族の写真を掲載させていただきます。

## 8月臨時会

8月7日、議案3件を原案のとおり可決し閉会しました。

### 審議された議案

| 種類     | 番号   | 件名                                | 結果 |
|--------|------|-----------------------------------|----|
| 【市長提出】 |      |                                   |    |
| 議案     | 第67号 | 新庄市市営バス設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| 議案     | 第68号 | 公の施設の区域外設置に関する協議について              | 可決 |
| 議案     | 第69号 | 公の施設の区域外設置に関する協議について              | 可決 |

## 9月定例会

令和5年9月定例会では、初日、報告3件を了承し、人事案件3件に同意しました。最終日には、令和4年度各会計決算6件を認定、1件を可決及び認定し、議案6件、令和5年度補正予算4件を原案のとおり可決しました。

### 審議された議案等

| 種類     | 番号                 | 件名  | 結果   |
|--------|--------------------|---|--|
| 【市長提出】 |                    |   |  |
| 報告     | 第9号                | 一般財団法人新庄市スポーツ協会の経営状況の報告について                           | 了承   |
|        | 第10号               | 新庄市土地開発公社の経営状況の報告について                                 | 了承   |
|        | 第11号               | 令和4年度新庄市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について                        | 了承   |
| 諮問     | 第2号                | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて                              | 同意   |
|        | 第3号                | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて                              | 同意   |
|        | 第4号                | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて                              | 同意   |
| 議案     | 第70号               | 令和4年度新庄市一般会計歳入歳出決算の認定について                             | 認定   |
|        | 第71号               | 令和4年度新庄市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について                     | 認定   |
|        | 第72号               | 令和4年度新庄市交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について                     | 認定   |
|        | 第73号               | 令和4年度新庄市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について                       | 認定   |
|        | 第74号               | 令和4年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について                    | 認定   |
|        | 第75号               | 令和4年度新庄市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について                        | 可決   |
|        | 第76号               | 令和4年度新庄市下水道事業会計決算の認定について                              | 認定   |
|        | 第77号               | 令和5年度新庄市一般会計補正予算（第3号）                                 | 可決   |
|        | 第78号               | 令和5年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）                           | 可決   |
|        | 第79号               | 令和5年度新庄市水道事業会計補正予算（第1号）                               | 可決   |
|        | 第80号               | 令和5年度新庄市下水道事業会計補正予算（第2号）                              | 可決   |
|        | 第81号               | 新庄市印鑑条例の一部を改正する条例について                                 | 可決 <span style="background-color: #0070C0; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px;">チョイス</span> P14 |
|        | 第82号               | 新庄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について | 可決   |
|        | 第83号               | 新庄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について          | 可決   |
|        | 第84号               | 新庄市農村環境改善センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について               | 可決   |
|        | 第85号               | 市道路線の認定について   | 可決   |
| 第86号   | 新庄市土地開発公社定款の変更について | 可決  |  |

## 議案及び請願に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案等をお知らせします。

○→賛成 ●→反対

| 議案等<br>番号   | 会 派 名                                  | 新政・結の会   |          |           |          |          |          |          |          | 共に創る市民の会 |           | 勁草21    |          | 会派に属さない議員    |          |          | 採 決 結 果 |          |          |          |
|-------------|--|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|---------|----------|--------------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|
|             |  | 小嶋<br>富弥 | 小野<br>周一 | 高橋<br>富美子 | 佐藤<br>卓也 | 山科<br>正仁 | 山科<br>春美 | 渡部<br>正七 | 鈴木<br>法学 | 辺見<br>孝太 | 坂本<br>健太郎 | 田中<br>功 | 伊藤<br>健一 | 八<br>鍬<br>長一 | 新田<br>道尋 | 佐藤<br>悦子 |         | 亀井<br>博人 | 今田<br>浩徳 | 鈴木<br>啓太 |
| 請 願<br>第1号  | 平和、命、暮らしを壊す大軍拡、大増税反対<br>についての請願        | ●        | ●        | ●         | —        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ○         | ○       | ○        | ○            | ○        | ○        | ○       | ●        | ●        | 不採択      |
| 議 案<br>第70号 | 令和4年度新庄市一般会計歳入歳出決算の認<br>定について          | ○        | ○        | ○         | —        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○         | ○       | ○        | ○            | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | 認定       |
| 議 案<br>第74号 | 令和4年度新庄市後期高齢者医療事業特別会<br>計歳入歳出決算の認定について | ○        | ○        | ○         | —        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○         | ○       | ○        | ○            | ○        | ○        | ○       | ○        | ○        | 認定       |

※議長は採決に参加しません。

※会派は採決時点です。

## 請願の審議結果

| 件 名                             | 請 願 者                | 紹介議員          | 結 果 |
|---------------------------------|----------------------|---------------|-----|
| 平和、命、暮らしを壊す大軍拡、大増税反対<br>についての請願 | 新庄・最上母親大会連絡会<br>岸 昌子 | 田中 功<br>新田 道尋 | 不採択 |

### 総務文教常任委員会の主な質疑

#### ●請願第1号

平和、命、暮らしを壊す大軍拡、大増  
税反対についての請願

#### 【主な意見】

・この請願は、幅広い対話と外交で、戦  
争準備ではなく幅広い話し合いを進める  
ことで、戦争は避けられるということ  
を言っている。話し合いで解決すること  
を進めることによって、軍拡はいら  
ないし、戦争をしないで進めること  
ができることを願うという請願である  
と思うため、採択  
すべきである。

### 人事案件

10月12日に同意された人事案件3件を  
ご紹介します。

#### ◎人権擁護委員

柏倉 政 氏  
高橋 正彦 氏  
門脇 潤 氏

※委員は議案番号順で掲載しています。

### 会派の異動

令和5年11月1日付で鈴木啓太議員が  
新政・結の会に入会しました。

### 産業厚生常任委員会の主な質疑

#### ●議案第81号

新庄市印鑑条例の一部を改正する条例  
について

Q この改正により、スマートフォンで  
住民票も交付できるようになるのか。  
A 条例で規定されているのは印鑑証明  
だけであり、戸籍や住民票関係はそれぞ  
れの法律に基づいて写しを交付してい  
る。その法律は改正が行われており、こ  
れらの証明書もスマートフォンによる交  
付が可能となる。  
(詳しくはP14チョイスをご覧ください。)

#### ●議案第84号

新庄市農村環境改善センター設置及び  
管理に関する条例の一部を改正する条例  
について

Q 現在の施設利用者はどのくらいか。  
A 令和4年度の利用者数は2373名  
であった。  
Q 体育館部分の解体費用の見積もりは  
どのくらいか。  
A 中期財政計画上では、7500万円  
の試算をしている。実際は11月末になら  
ないと分からないが、今般の資材高騰や  
労務単価の上昇により、それ以上の額に  
なるのではないかと考えている。

# チェック!!



20日 24日



かむてん © 新庄市×富樫義博

## 一般会計

### 【歳入】

#### 固定資産税

Q. 新築住宅の軽減税額と一戸当たりの広さは平均どのくらいか。また、減額期間は何年間か。

A. 令和4年度課税分については平均軽減額で年5万円程度、広さについては平均約120㎡となっている。軽減期間については、一般住宅は3年、3階以上の耐火住宅は5年としている。

#### 地方交付税

Q. 財源の不均衡を調整し、市民サービスを保証する普通交付税の1人当たりの交付額はいくらか。

A. 普通交付税の額を、普通交付税の算定基準となる国勢調査の都市の人口で割り返したものは、過去5年間を平均すると、1人当たり約12万円となる。

#### ふるさと納税寄附金

Q. 令和4年11月から開始された自治体マイページサービスと、オンラインワンストップ特例申請の内容と

登録数及び申請数を伺う。

A. ワンストップ特例制度とは、確定申告をしなくても、ふるさと納税の寄附金控除を受けることができる仕組みであり、1人当たり5自治体まで活用可能である。令和4年度のワンストップ特例申請の件数は3万3269件、自治体マイページの登録者数は1万1496件である。

### 【歳出】

#### 移住・定住促進事業

Q. 移住支援事業補助金があまり活用されていないようだが、もっと積極的に周知してはどうか。

A. PRが不足していると感じており、どのような対象に向けて発信していくのがよいか、今後検討していく。

#### まちづくり応援基金積立金

Q. ふるさと納税事業費として、まちづくり応援基金に積み立てた後の基金活用事業の成果を伺う。

A. 基金からの充当事業は42事業と多岐にわたり、例えば民間立保育所整備、エコロジージャーデン関係、道路の除排雪事業などに充当して活用させていただいている。

#### 歴史的風致を活かした

#### まちづくり事業

Q. 歴史的風致を活かしたまちづくりの初年度ゆえの初期費用が発生している。次年度以降のより効果的なテーマごとの磨き上げをどのように行うのか伺う。

A. 令和6年度以降、歴史的風致維持向上計画に基づき、所管を都市整備課に移管し、様々な取り組みを進めていくこととしている。

#### デマンド型乗合タクシー

#### 運行事業

Q. 試行の結果、「運転手不足で終了」ではなく、寒河江市の継続、年3400人の利用から学ぶべきではないか。

A. 交通事業者と協議していく中で、運転手不足は非常に深刻であり、新庄市においては、現状では対応できないという協議結果である。今後、公共交通の見直しも含めた対策を考えていく。

#### 灯油購入助成金

Q. ほかの自治体では、県の補助が増えたことを活かして1万円を補助したが、本市では7000円だった。支給額を増額してはいかがか。

# 市のお財布

10月20・24日の決算特別委員会において、一般会計については、24日に採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決し、10月26日本会議において※掲載している文章は、抜粋し、要約したものです。詳しくはQRコードが

A. 昨年度は7000円だったが、令和5年度については3000円上乗せし、1万円を支給する予定である。

## 病児保育事業

Q. 病児保育利用料を申請に基づき半額助成する方法から、助成後の金額で利用できるようにしてはいいか。

A. 施設利用者は新庄市民だけではないため、利用後に半額を助成している。今後、行政、利用者がお互いに簡素化できる方法を検討していく。

## 電子母子手帳サービス利用料

Q. 電子母子手帳サービス利用料について、詳細を伺う。

A. お子様の予防接種や健康診断の記録を管理できる母子手帳アプリ「すくすくshinjo」を令和4年6月より導入した。子育て情報の配信なども行っており、引き続き有効に活用したい。

## 看護師確保対策事業

Q. 看護師奨学金返還助成金を増額し、交付人数を増やすべきではないか。

A. 令和4年度の助成実績は、4名中3名が全額助成、1名は約8割の助成であり、ほぼ全額に近い助成ができた。多くの方に利用していただくよう、今後も広報などに力を入れていく。

## 地域循環型生ごみ収集事業

Q. 生ごみを収集し堆肥化することで循環型社会を形成する、重要な事業と考えている。現在の課題と今後の展望について伺う。

A. 堆肥を製造している施設が大変古く、いつまで使用できるかが課題である。また、堆肥の切り返しを行う業者についても高齢化が進んでいるなどの課題もあり、今後、生ごみの地域循環についてどのように考えていくか検討していく。

## 公園管理事業

Q. 18か所ある都市公園の樹木や街路樹により、落ち葉清掃やアメシロの発生などの問題が生じているが、

どのような剪定基準か伺う。

A. 公園等の樹木は日常的なパトリール等の実施のほか、剪定を行う公園の箇所付けを行い、計画的な管理を行っている。区域外にはみ出している枝の剪定は区長等の要望を踏まえ、状況を判断し、その都度対応している。街路樹については、業者に委託し剪定を実施している。

## 市民プラザ管理事業

Q. 市民プラザのホールの天井の照明が切れており、暗くて古い。LEDに更新すべきではないか。

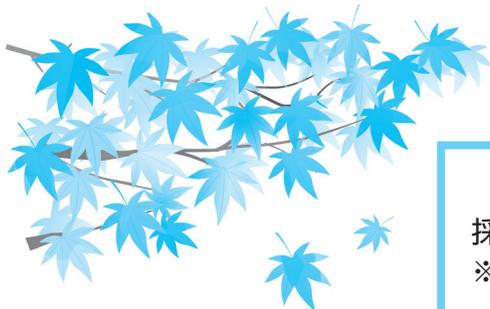
A. 中期財政計画に基づき、各社会教育施設のLED化を順次進めていきたいと考えている。

## 介護保険事業特別会計

### 介護認定調査費

Q. 介護認定者数は2073名で、そのうち税金の控除となる障害者控除認定証の発行数は少ない。ケアマネージャーに活用のお知らせをしてはいいか。

A. ケアマネージャーを通じてお知らせすることについては、機会を見て検討していきたい。



## 一般質問

一般質問は、10月13日、16日、19日の3日間、15名の議員が行いました。

質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。

※掲載している文章は、抜粋し、要約したものです。詳しくは各議員のQRコードから動画をご覧ください。

### 9月定例会一般質問の質問者と質問事項

#### 渡部 正七

1. 「これからの新庄をつくる主要政策」について
2. 「区長と市長のまちづくり会議」について
3. 「ふるさと納税」について
4. 「人・農地プラン」から「地域計画」策定における支援について
5. 市民スキー場グレンデAコース斜面崩壊箇所の復旧について

#### 八鍬 長一

1. 2つの「道の駅」について
2. 栗駒国定公園 神室山系の山岳観光について

#### 坂本 健太郎

1. 総がかりの子育て体制について
2. 新庄市の福祉行政に関する関係団体との連携、協働について
3. 大雨による洪水等の災害への備えについて

#### 鈴木 法学

1. 「リサイクル事業の現状と今後」について
2. 「新庄まつり」について
3. 「観光資源となる、新庄市の飲食店の情報発信」について

#### 辺見 孝太

1. 市政運営について
2. 草屯鎮との交流について
3. 消防団の出動報告について
4. 新庄まつりについて

#### 小嶋 富弥

1. 市長の市政運営について
2. 住みよい街づくりについて
3. 生成A1について

#### 山科 正仁

1. 市長の考える市政の運営方針について
2. 教育環境整備について

#### 佐藤 悦子

1. 教育費の負担を軽減し、子どもを大切に市政に
2. 高齢者の生活を守るために
3. 新たな建設、開発は最小にし、地場産業である農業とエネルギーの自給化や市民の収入増加にむけていくために

ねえ、かむてんおしえて！

一般質問って何？



一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。



かむてん © 新庄市×富樫義博

#### 山科 春美

1. 生涯現役社会の実現に向けた施策について
2. 暑さ対策について

#### 鈴木 啓太

1. 本市の人口減少対策について
2. 本市の子どもの遊び場について

#### 亀井 博人

1. 東北農林専門職大学について
2. 道の駅について
3. 市庁舎について
4. 公共施設の再配置について
5. 時間外勤務について

#### 田中 功

1. 陸羽西線下西山踏切の歩道確保工事について
2. 新横根山工業団地について
3. 農業資材の高騰に対する農家救済施策について
4. 市道の補修計画について

#### 高橋 富美子

1. タブレット端末を活用した悩み事相談について
2. セカンドブックについて
3. 熱中症対策について
4. 地域の支え合い、地域づくりについて
5. 交通安全対策について

#### 伊藤 健一

1. 東北農林専門職大学の開学に伴い、新庄市としての学生や教職員向けの居住環境について
2. 最上8市町村の広域連携の強化について
3. 2つの「道の駅」構想について
4. 市役所建物の2階以上への移手段について

#### 小野 周一

1. 持続可能な本市農業の課題について
2. 選挙公約について



# 『次世代へつなげる市政を』



わたなべ しゅうしち  
渡部 正七 議員

◎これからの新庄をつくる5つの主要政策を掲げているが、対話型のまちづくりを具体的にどのように進めていくのか伺う。

**市長** 住民との対話の場については、これまで「区長と市長のまちづくり会議」や「市長と市民のまちづくりミーティング」を実施し、各行政区の区長さんや、ミーティングの開催を希望する地域住民と向き合いながら意見交換を行ってきています。このような地域の課題の対話については内容を見直しながら継続したいと考えています。市民の意見は地域の中のみならず、子育て世代や高齢の方々などにも、多種多様な意見があると考えています。このため、対話型のまちづくりを進めていく上では、そのような市民の方々と意見交換できる方法について、今後具体的に検討していきます。

る新制度の本市に与える影響を伺う。

**市長** 募集適正基準の改正については、ふるさと納税の募集に係る経費を寄附金額の5割以内に収めることとなり、これまでは経費の対象外とされていた寄附金受領証明書や、ワンストップ特例に係る申請書の発送に係る事務経費などを「募集に係る経費」として新たに含めることとなったものです。本市としては、当面は返礼品の寄附金額の引上げは行わず、事務経費の精査や圧縮、事務の効率化やコスト削減に努めます。

地場産品基準の改正については、熟成肉や精米について、原材料となる肉や米の産地をその自治体が属する都道府県内に限ることとなったほか、返礼品の付帯物に関する部分については、地場産品と地場産品以外の付帯物をセットにして返礼品とする場合、返礼品全体のうち、地場産品の価値を7割以上とすることになったものです。本市においては、このような基準外の返礼品を提供していません。そのため、この改正による影響はありません。

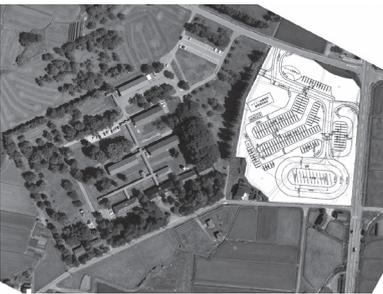


ふるさとを元気に  
発見！地域の魅力



# 『2つの「道の駅」でいいのか』

一方、この事業が国の一体型整備事業であり、国の協定に基づき、



エコロジーガーデン周辺道の駅 計画図

◎市民はインターチェンジ付近に設置されることを望んでいる。エコロジーガーデン付近「道の駅」は、市にとって本当に有利なのか、検証すべきではないか。  
**市長** エコロジーガーデンへの駐車場整備の手法としては、国との整備区分による負担軽減などもあり、経済的なメリットはあるのではないかと考えています。しかし、このエコロジーガーデン道の駅については、これまで考えてきた道の駅像との違いもあるため、計画内容についてはもう一度精査したいと考えています。



やくわ ちょういち  
八 鞆 長 一 議員

年次計画により進められているものでもあるため、今年度の事業についても、現在発注している工事の状況も踏まえ、国とも調整を行いつながり、整備の内容や手法などについて検討します。

◎栗駒国定公園、神室山系は、本市の宝である。登山道整備など、現状と課題を伺います。

**市長** 神室山系は、市民登山から県外登山客に至るまで幅広く利用されているほか、登山愛好者を対象とした登山イベントを毎年実施し、数日で定員に達するなど大変好評であり、神室山系のさらなる魅力発信へ大きな効果があるものと考えています。

このような需要に対応するため、登山道などの整備については、県及び県自然公園等の保全整備促進協議会と連携し、山岳団体の協力のもと、登山シーズンに合わせ登山道の整備、点検を実施しています。さらに、常日頃から山岳団体により神室山から李蔵山までの登山道整備の維持管理にご協力いただいています。

今後の課題については、登山道の刈り払い作業の協力をいただいている山岳団体のメンバーの高齢化、会員の減少のほか、将来的には神室山避難小屋の大規模修繕が挙げられます。こうした課題に対応するため、県や関係市町村との連携をさらに深め、山岳団体との協力関係をより一層密にして山岳観光振興に努めます。





# 『市政運営、一丁目一番地の政策は』



へんみ こうた 議員  
辺見孝太

◎今後の市政の運営について、市長がこれから取り組む一丁目一番地の政策は何かをお伺いします。

市長 少子高齢化は本市において非常に重要な課題であると考えており、人口減少が進むことで、社会保障費の増大や経済の停滞など様々な問題が発生し、市民生活に及ぼす影響も非常に大きくなると思定しています。そのため、人口減少対策を本市の最重要課題と位置づけ、子育て支援の充実、高齢者の活躍支援、移住・定住促進などの取り組みを重点的に進めていく考えです。

学校給食費の無償化や、最上8市町村で連携した子育て施設の整備などの子育て支援を充実させることで、子育て世代に選ばれ、子どもたちが伸び伸びと育つまちづくりを検討していきたいと考えています。

また、高齢者の移動手段の確保や冬場の除雪支援などにより、高齢者がいきいきと暮らせる環境を整えることが重要であると考えています。

います。

さらに、住宅支援や就業支援を行うことで、移住希望者には選ばれるまちづくりや、若者の地元回帰を進めていきたいと考えています。これらの施策を着実に進めることで、本市の人口減少を抑制し、持続可能なまちづくりを実現していきたいと考えていますが、人口減少対策は市役所だけでは解決できない大きな課題であるため、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、一丸となって取り組んでいきます。

◎各地の祭りでは観光客を対象により付加価値を付けた高額の特別席を設ける動きが広がっています。新庄まつりでも、快適性を高めた食事や解説付きのプレミアム観覧席を企画出来ないかお伺いします。

市長 付加価値の高い有料観覧席については、新庄まつり百年の大計第4期計画においても「新たな観覧席の設置検討を行う」として、他の祭りで行っている高付加価値の提供内容など、新庄まつり実行委員会を通じて、市としても検討していきます。



令和5年度 新庄まつり観覧席



# 『新市長の市政運営について』



おじま とみや 議員  
小嶋富弥

◎任期満了に伴う市長選挙において、市民の支持を得て新市長が当選されました。市政運営に対する抱負と、市が直面している市民の課題等は何なのか、新市長に伺います。

市長 私は、以前から市民の皆さまのお話を聞き、実現方法を考え、代替案をお示しすることを心がけてきました。その上で、市民の皆様の課題を一つずつ解決し、住みやすいまちづくりを目指すことが重要であると考えています。

この住みやすいまちづくりを実現するために、市民と行政が一体となって議論を重ねていく「対話」を大切に



新庄市役所

していきます。

また、本市の直面している最も大きな課題は人口減少と考えています。子育て支援の充実や若者の地元回帰など様々な施策を着実に進めることで、本市の人口減少を抑制し、持続可能なまちづくりを実現したいと考えています。

◎インターチェンジ付近道の駅の取り付け道路についてと、これらのお考えを質問します。

市長 新庄インターチェンジ付近道の駅については、現在、検討会において協議が行われているところですが、高規格道路からの直接乗り入れについて国土交通省による検討のため、協議を一旦中断しているところです。

この道の駅については、検討会のできるだけ早い再開に向けて準備を進めますが、将来に向かって持続可能な財政運営を目指すことが非常に大切であると考えています。このため、検討にあたっては、道の駅の整備手法や運営などに関し、民間との公民連携を進めることなども模索していきます。

また、来春開学する東北農林専門職大学と道の駅が連携することで、新たなまちづくりの可能性も広がるものと考えています。新庄インターチェンジ付近道の駅については、8市町村などの関係機関と対話を重ね、持続可能な経営と地域への波及効果をもたらす整備に向けて検討を進めます。

質問動画は

こちらから



# 『ブレない市政の舵取りを!』



やましな まさひと  
山科正仁 議員

◎市長の公約である「道の駅設置検討委員会の早期再開」において、「通常型」と「大規模型」のどちらを選択し臨むのかを伺う。

市長 新庄インターチェンジ付近道の駅については、最上8市町村への回遊の拠点となり、最上地域全体に波及効果をもたらす道の駅整備を目指し、管内の町村や商工団体、国、県と話し合いを進めています。現在、国土交通省による検討のため、協議を一旦中断している状況です。

市としては、道の駅検討会の再開に向けて準備を進めています。最上地域全体のにぎわい創出のための仕組みづくりと、持続可能な施設運営が重要と考えています。

この道の駅については、関係機関と対話を重ねながら、どのような形がふさわしいのか、民間の活用なども視野に入れて検討を進めていきたいと考えています。

◎教育現場でも国が推進するデジタル化は進められている。

今後、教師の方々の指導力や児童生徒の理解力等により学力面での格差が懸念されるが、今後のデジタル教育の方向性を伺う。

教育長 本市では、昨年度よりICT支援員を市内小中義務教育学校に配置し、ICTを活用した授業支援や研修などのサポートを通して、教員のスキル向上や児童生徒の情報活用能力の育成を行っています。また、市教育研究所のICT委員会においても、ICTを活用した授業づくりや、ICT支援員の有効的な活用方法について情報交換を行いながら、各学校で様々な実践ができるようにしています。

今後は児童生徒の資質・能力の育成につながるような授業づくりを基盤として、ICTをいかに効果的に使うかといった視点での活用と支援を進めていきます。また、市内小中義務教育学校では、現在も情報モラルやSNSの利用のしかたなどの情報教育に力を入れています。生成AIなどの技術革新が飛躍的なスピードで進展していることを勘案し、より一層の充実を図れるよう、取り組みを検討していきます。



高学年から低学年へつながる学習環境

質問動画は

こちらから



# 『食料とエネルギーの自給率引き上げ』

◎農産物の輸入拡大をやめ、生産物の価格保証と個別所得補償で自給率の確実な引き上げを求めつつ、学校給食に有機米を使うなどでの支援、拡大策はどうか。

市長 価格保証と個別所得補償については、経営所得安定対策により、米及び畑作物の収入減少支援や大豆、飼料作物などの生産農業者支援を行っています。今後、農業情勢の変動に対する支援について、国及び県に要請していきます。

また、有機農業への支援、拡大策については非常に重要ととらえており、現在は昭和地区をモデル地区として、有機農業産地づくりの取り組みや環境保全型農業での取り組みに対して、必要な支援を行っています。今後は、有機農業の推進に向けて、特別栽培を含め、化学合成農薬及び化学合成肥料の使用量低減に取り組んでいきます。

教育長 地場産の有機農産物は一部の学校において学校給食に取り



さとう えつこ  
佐藤悦子 議員

入れており、今後も可能な範囲で活用していきます。

◎営農型太陽光発電への支援や、公共施設及び市内企業への省エネ、再エネ利用拡大計画を作り、市内でのエネルギー自給率100%を目指すべきではないか。

市長 営農型太陽光発電の支援については、農地への太陽光パネル設置に対する支援はありませんが、今後、国及び県の動向を注視していきます。

省エネ・再エネの利用拡大、エネルギー自給率については、本市の環境基本計画において、市民と事業所、行政が一体となって省エネルギー対策の推進を図り、地域性に応じた再生可能エネルギー施策の在り方について協議・検討を重ねることとしています。

公共施設及び市内企業の再エネ・省エネ利用拡大計画については、本市の地域特性の情報収集、再生可能エネルギー導入に関する現状分析などを行いながら、可能性について検討していきます。

## 新庄市での太陽光発電(会社)の例

|         |        |
|---------|--------|
| 資本金     | 1000万円 |
| 設備費     | 8800万円 |
| 出力      | 300kW  |
| 売電収入(年) | 1200万円 |
| 耐用年数    | 20~30年 |
| 経過年数    | 現在8年   |

一般家庭は3kWでだいたい間に合う(2023年5月の聞き取りから)



# 『生涯現役社会の実現を!』

◎シニアの方々が生きがいを持って生涯現役で活躍するために、雇用・就職支援、趣味や社会参加等をワンストップで相談できる窓口の創設についてどのようにお考えですか。

**市長** 高齢化社会が進んでいく中で、高齢者の方々の社会参加や社会的役割を持つことは、生きがいや健康的な生活につながるから、相談体制の整備は大変重要であると認識しています。

現在、高齢者の方が、自分の能力や体力に見合った活動の場への参加を希望されている場合、市や社会福祉協議会などがそれぞれ相談を受け、担当部署にご案内していますが、これらワンストップで行うことについては、その必要性も含めて、今後関係機関と検討していきます。



生涯現役いきいき人生!

◎今年の夏は災害級の暑さと言われましたが、教育現場にて、熱中症を減らす対策や指導などどのような対応をしてきたかお伺いします。

**教育長** 本市は、これまでも部活動ガイドラインなどに熱中症対策について示していましたが、本年8月に、教育活動全般での対応を的確かつ円滑に推進するため、「新庄市立小中義務教育学校熱中症対策ガイドライン」を策定しました。

このガイドラインに基づき、体育の授業や運動会、校外活動、部活動において、定期的に暑さ指数を計測し、これらの数値を熱中症予防運動指針と照らし合わせて活動の可否や内容の調整について判断しています。

また、本市ガイドラインに基づき、授業や体育、部活動において適度な休憩を設け、水分補給などの予防対策を実施し、生徒一人ひとりの体調を適時確認しています。課題としては、教員が、個人の体調や体力差、運動時の服装など暑さ指数以外の留意点を考慮し、活動の可否を判断していくことが重要であると考えています。

教職員と保護者が、熱中症は命に関わる病気であることを改めて認識し、予防対策を徹底するとともに適切な対応ができるよう努めていきます。



山科春美 議員

審議された議案等

決算特別委員会

一般質問

チョイス

研修報告

# 『子どもの遊び場の整備について』



◎公約にありました子育て施設・子どもたちが安心して遊べる拠点の整備」について、市長の構想をお伺いします。

**市長** 本市の子どもの遊び場としては、屋外の遊び場として、市が管理している遊具のある公園や県公園などがあります。また、屋内の遊び場として、わらすこ広場があります。

特に、わらすこ広場については、天候に関わらず、児童が安全に遊ぶことができる場所として利用いただいています。

また、育児や家庭生活など様々な悩みを持つ子育て家庭に寄り添ったため、地域子育て支



わらすこ広場



鈴木啓太 議員

援センターを併設し、育児相談や子育て講座、子育てに関する情報発信を行い、本市における子育て支援の拠点として位置付けています。

わらすこ広場は小さいお子様には人気がある施設ですが、小学校3年生までの利用となっており、高学年へのニーズの対応には課題があると感じています。高学年になれば遊びだけでなく学びの場も求められると考えているため、民間活力の活用や最上8市町村での連携など、様々な可能性を模索しながら検討したいと考えています。

◎天候に左右されない新たな子ども向け屋内遊戯施設の整備が必要と考えますが、市長のお考えをお伺いします。

**市長** 他市に子育て施設があると、親が子育て施設に子どもを連れて行って遊んで、ついでに買い物して帰ってくるという、休日のライフスタイルでも使われている傾向にあると考えており、そうした点を分析したいと考えています。

その上で、新庄市単独では子育て施設の規模も小さくなると考えているため、連携する市町村と一緒にしながら、そして民間活力を活用しながら、すくすくと伸びやかに子どもが成長するような子育て施設にしていきたいと思えます。また、子育て施設には学びの部分が必要だと考えているため、どのような形がいいのか、皆さんとともに検討していきたいと思えます。





# 『児童生徒の相談窓口開設を』

◎学校や家庭での悩み事を、電話や対面で相談することはハードルが高いとされています。タブレット端末を活用した相談窓口を開設されてはどうか。

教育長 現在、本市に設置している教育相談室では、教育相談員3名体制で主に小中義務教育学校に通う子どもや、その保護者を対象とした電話相談を受けています。

令和4年度における保護者や児童生徒との電話相談は172件ありました。しかし、児童生徒本人からの直接の電話相談や来所しての相談は1件もなく、悩みを抱える児童生徒が利用しやすい相談体制の整備が必要であると認識しています。

実際に、学校では、不登校傾向で欠席している児童生徒と教員がタブレットのチャット機能を通してやりとりしています。

今後、タブレット端末を活用した相談窓口について、相談員の体制や相談窓口専用フォームの作成



たかはし ふみこ  
高橋 富美子 議員

など、課題を整理しながら調査研究していきます。

◎就学児健診の際に、「ブックスタート」のフォロニアップとして、絵本を再度寄贈するセカンドブック事業を実施し、更なる事業の充実を図ってはどうか。

教育長 本市では、新庄市子ども読書活動推進計画に基づき、4か月健診に絵本を2冊プレゼントするブックスタート事業を実施しています。これに加えて、毎週水曜日に実施する「あかちゃんタイム」や図書館ボランティアサークルによる読み聞かせ会「えほんぱーく」、子育て支援センターとの連携で実施する「親子でえほんライブラリー」など、ブックスタートのフォローアップ事業も実施しています。

セカンドブック事業については、他自治体で実施されていることは把握しており、子どもたちの豊かな感性を育て、読書への関心を高めるために有効なものであると考えているため、今後検討していきます。



新庄市子ども読書活動推進計画



# 『専門職大学開学に向けた受入れ整備』

◎東北農林専門職大学の開学に伴い、市として学生や職員に向けた居住環境を提案したが、見込んだ成果は出なかったようである。今後の方策を伺います。

市長 本市では、これまで東北農林専門職大学の開学に向け、新庄市に來られる学生の支援として、中心街にある空き家等をリノベーションし、学生が居住できる準学生寮としての整備を進めてきましたが、入学生の動向が見えないことや物価高騰などにより、今年度の整備が困難となったとところです。

このため、応急支援として、市が管理している定住促進住宅を活用し、学生向けの住まいとして提供できるよう準備を進めています。



いとう けんいち  
伊藤 健一 議員



開学に向け建築中の東北農林専門職大学

また、地元の不動産業界には、学生・教職員向けの住まいの詳細な情報をより多く提供していただくようお願いしています。

今後の空き家活用のリノベーション事業については、来年4月に入学する学生の動向や要望に配慮するとともに、課題を整理しながら事業を進めていきます。

◎急激な人口減少、少子高齢化により「最上は一つ」の考えを指した広域連携の強化が必須と思われる。新庄市の考えを伺います。

市長 今後、急速な人口減少と少子高齢化が見込まれる中、日常生活圏が一体となっている新庄・最上地域が将来にわたって持続可能な地域であり続けるためには、各市町村の自立性を尊重しながらも、人口減少の抑制や地域の活性化に向けて連携することが重要であると考えています。

このようなか、平成27年に本市と最上地域7町村とで新庄最上定住自立圏形成協定を締結しました。本市が中心市として7町村と新庄最上定住自立圏を形成することで、最上地域に必要な都市機能及び生活機能を確保し、安心して暮らすことができる地域づくりに取り組んでおり、現在、協定に基づき22の取組項目を推進しています。

今後は、最上地域の中心市として最上7町村との広域連携を図りながら、地域の活性化と市民が安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進めていきます。

質問動画は  
こちらから



# 『選挙公約について』



おの しゅういち 議員  
小野周一

学校給食費を完全無償化した場合は約1億6000万円の費用を要することから、財源についての問題も出てくると考えています。また、国においても家庭庁の設置や、子どもに関する様々な



市庁舎

◎市長は5つの主要政策を市民に公約しております。市長には予算の調整等の権限がありますが、推進検討とする給食費無償化を4年間の任期中に実施されるのか。  
市長 現在、学校給食費については、第3子以降の完全無償化や第2子半額免除、第1子への一部補助を実施しています。また、今年度は国の交付金を活用し、物価高騰による給食費増額分の補助も実施しています。

施策を打ち出すこともあることから、無償化を含めた学校給食費のに対する支援については、こうした国の動向を注視しながら検討していきます。  
◎市長は大規模な「道の駅」構想を示しています。かつての危機的な財政状況を忘れることなく、財政規律を重視した、身の丈に合った「道の駅」構想であるのか伺います。  
市長 新庄インターチェンジ付近道の駅については、新庄インターチェンジが縦軸と横軸の道路が交差する重要地点に位置していることから、本市としても、この周辺への道の駅の整備は新庄・最上地域に大きな波及効果をもたらすものと期待しているところです。  
整備に向けた検討会は一旦中断していますが、今後、できるだけ早い検討会の再開に向けて準備を進めていきたいと考えています。  
本市としては、この道の駅検討会の再開に向け、最上地域全体のにぎわい創出のための仕組みづくりと、持続可能な施設運営が重要であると考えています。  
また、整備手法や運営方法などについても、資金力や経営力のある民間との公民連携を模索していきたいと考えています。  
なお、検討会が再開した場合、議会に対して随時状況を報告するほか、議会以外の場合でも相談をさせていただきます。

審議された議案等

決算特別委員会

一般質問

チョイス

研修報告

チョイス

議案第81号

## マイナンバーカードの機能を搭載したスマートフォンで証明書のコンビニ交付が可能に ～新庄市印鑑条例の一部を改正する条例について～

現在実施しているコンビニ交付では、マイナンバーカードを利用して各種証明書の交付を受けることができます。印鑑登録証明書についても、マイナンバーカードのみ利用可と条例に規定しています。

この度、法改正を受け、電子証明書機能を搭載したスマートフォンを利用して、コンビニエンスストアで印鑑登録証明書の交付を申請できるよう必要な条例改正を行いました。

11月時点では、まだ利用できませんが、国では、年内実施に向け、スマートフォンを使用して各種証明書の交付を可能にするためのシステム改修を行っています。

### コンビニ交付サービスの概要

| 項目         | 内容  |
|------------|---|
| 1. 交付対象証明書 | 住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、所得・課税証明書、戸籍全部・個人事項証明書、戸籍の附票の写し                        |
| 2. 利用時間    | 午前6時30分～午後11時（12月29日～1月3日除く）  |
| 3. 利用店舗    | 全国約5万6千店舗<br>多機能端末機（マルチコピー機）を設置しているコンビニエンスストア等<br>市内19店舗（セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート） |
| 4. 手数料     | 市役所窓口より100円安くなります。  |

## 山形県市議会議長会 第61回議員研修会報告

8月10日に山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」にて、第61回議員研修会が開かれました。「人口減少社会における新たな地域の可能性」を演題として、(株)日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏が講師を務めました。この研修会は山形県市議会議長会及び東北市議会議長会が主催し、会場には県内13市から市議会議員が集まりました。

講演では日本の人口が前年に比べ約80万人少なくなったことや、調査開始以来初めて、47都道府県すべてで人口が減少した事に触れ、東京や大都市ばかりが栄えるのではないかと昭和や平成の考え方から、東京でも若い人が減っていることや社会の急激な変化を令和の現実と受け止め、頭を切り替えることが重要と指摘しました。

すでに起きている地方と都市部の逆転現象や、先入観にとらわれずに事実を捉える大切さを学び、自身の活動にしっかりと活かしていきたいと思いました。



## 新庄市議会第1回 議員研修会報告 ～新・山形県立新庄病院視察～

去る9月1日、令和5年度第1回新庄市議会議員研修会として、市内金沢に建設中の県立新庄病院の視察を行いました。

開院1か月前の最終準備を行っている現地では、県立新庄病院新病院整備課・倉金主幹より、1階から6階までの各フロアのご説明をいただき、様々な気付きと学びを得ました。

最初に目に付いたのが、面積約5haの広い敷地に約850台分の平面駐車場です。そして1階ワンフロアに外来をまとめたことで、内外の見通しはもちろん視認性の良い配置となりました。旧病院のように、各所に分かれた駐車場から足を運んだり、別館移動や2階に上がることもなく受付・外来・会計を済ませられることは、ご高齢の方々にもやさしいつくりとしてうれしく思いました。診療科7科が新設され28科になる予定と聞き、今まで以上のきめ細かな診療が可能になります。

また、「総合患者サポートセンター」を新設し、診療内容や入院手続き、退院後の療養環境、介護・福祉サービスの利用など一連の相談に対応できます。トータルケアの取り組みに感嘆しました。さらには、最上地域で初めてヘリポートを備えた「地域救命救急センター」があることで、24時間・365日、高度な救急医療を提供できるようになりました。処置・診察に加え、常勤の専門医を配置することで、迅速な診断も可能となります。加えて、新庄市夜間休日診療所が、機能移転されたことは、市民の皆さまの安心につながることでしょう。

2階は、手術・ICU・専門診療に対応、3階には管理部門・病棟があり、4階から6階までは各病棟となり全部で325床の病室があるそうです。職員専用の出入口・通路も数多く通り、最新鋭のCT・MRIなどの医療機器も見学することができました。

一息つく場所として1階出入り口付近にある、患者用の図書室と地元パン屋さんのカフェが目を楽しめます。院内保育所を整備したことで、働く職員の方々への配慮も伺えました。

このたびの研修会を通じて新病院の新たなスタートに感謝し、新庄最上地域に住む皆さまへの安心と信頼を与えてくれる医療を末長く提供していただきたいと強く感じました。新病院関係者の皆さま、これからもよろしくお願い申し上げます。



## 市民の声

地域で活躍する皆さまの声を紹介します。

### 「暮らしの中にスポーツを」



株式会社リンクス  
今田 康平さん



新庄で生まれた私は、サッカーと出会い、サッカー漬けの日々を過ごしてきました。将来は「スポーツに関わる仕事がしたい」という思いから、県外の体育大学に進学し、スポーツビジネスを学びました。

これまでは競技者という視点でしかスポーツを見ていませんでしたが、大学でスポーツについて学びを深めるにつれ、新庄市は他の地域に比べて「スポーツ環境に大きな差がある」と感じるようになりました。もちろん、競技人口や施設規模など環境面での差は理解していましたが、私が大きな差があると感じたのは、スポーツ指導についてです。競技者のレベルに合わせた専門的指導が充実しており、よりスポーツを楽しめている様子を見てきました。こういった環境を新庄でも整えることはできないだろうかと考えるようになり、これまでの「スポーツに関わる仕事をしたい」という気持ちから「スポーツの指導環境を整えたい」という思いに変化してきました。

在学中に新設した社会人サッカーチームやキッズサッカー教室などの活動を通して、新庄における課題を探り、卒業後はスポーツトレーナーとして活動してきました。思うようにいかないこともあり壁にぶつかることも多くありましたが、活動を続けている中で同じような思いを持ち活動している方と出会いました。今はその方と共にスポーツをする人だけでなく、指導をする人も満足できる環境整備に向けて活動しています。老若男女問わず、この地域に住む方々がスポーツを楽しめる環境を作り上げることが今の私の目標です。

## 12月定例会の予定

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 11月20日(月) | 請願締切             |
| 12月1日(金)  | 開会               |
| 4日(月)     | 一般質問 <b>中継あり</b> |
| 5日(火)     | 一般質問             |
| 6日(水)     | 常任委員会            |
| 7日(木)     | 常任委員会            |
| 12日(火)    | 最終日 <b>中継あり</b>  |

開会は10時です ◇請願は随時受け付けております

### 議会を傍聴してみませんか？

どなたでも傍聴できます。受付簿に住所・氏名を記入していただくほかは面倒な手続きはありません。団体の方は事前に議会事務局までご連絡ください。ぜひ、市役所3階議場に足を運んでください！



スマートフォン・タブレットでも  
市議会ネット中継が視聴できます！



新庄市議会 中継

検索

市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロア、市民プラザでも視聴できますので、ぜひご利用ください。

※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。



委員長 山科 春美  
副委員長 亀井 博人  
委員 鈴木 啓太  
鈴木 法孝  
辺見 孝太  
伊藤 健一

### 議会報編集委員の紹介

やってみなければ分からないことは多い。やらずに分かることも多い。必要な事業なのか、市民のためになるのか、おかしくないか、見極める眼が議員個々に求められている。議会には、こうしたという事務事業が市長から提案され、議会では賛成か反対かの判断を求められる。その判断が「議決権」とよばれ、議員にとり最も重要な権利であるが、責任も伴う。執行部は準備と説明を行い、議会で審議も行うため議案のほとんどは賛成多数で成立してきた。新市長は「対話と決断、未来への責任」を掲げている。新庄に住んで良かった、住み続けたいと思える事業推進に力を注ぎたい。(記・亀井博人)

あとがき

